

新潟大学教員公募要領

本公募に係る教員が所属する「産業安全文化協創センター」は、産業界が要望する科学技術・学術領域において研究開発及び人材育成の拠点を形成するもので、新潟大学社会連携推進機構が新たに設置する学内組織です。

安全文化はチェルノブイリ原子力発電所の事故を契機として注目を集めるようになった概念です。近年、安全文化の醸成レベルが労働災害及び重大な産業事故の発生に重要な役割を果たすことが認識され、安全工学を専門とし、安全文化の診断が可能な新潟大学の研究室に対し、産業を越えて複数の業界から安全文化診断の活用を希望する声が寄せられました。

このような社会的要望に応え、組織的な安全文化診断の継続的实施及び人材育成に向けて、新潟大学社会連携推進機構に産業界主導による「産業安全文化協創センター」を設置することとしました。

上記センターは、産業安全分野において企業等との協働により安全文化診断をはじめとする各種手法の進化・発展に取り組み、多種多様な業界への適用及び手法の持続的な改善を推進するとともに、産業安全分野の発展を目指した研究・教育体制を構築することを目的とします。

本公募に係る教員は、新たに設置する上記センターにおいて、マネジメント・研究・人材育成等の業務全般に渡り中心的な役割を担います。

1 職種・人員

教授または准教授 1名

2 所属

新潟大学社会連携推進機構産業安全文化協創センター（令和7年4月設置予定）

3 主な職務内容

- ・産業安全分野及びそれに関わる領域における教育研究
- ・上記センターの目的の達成に必要な産業界と協働した取組の推進
- ・上記センターの経営・運営に関する職務
- ・産業安全分野または上記センターと関係する他の学内組織における職務
- ・その他、社会連携推進機構の目的を達成するために必要な職務

4 応募資格

- (1) 博士の学位を有すること
- (2) 安全工学またはその関連分野に関する教育研究業績を有すること、または企業等の安全衛生管理業務に関するマネジメントの実務経験を有すること
- (3) 産業安全文化協創センターの設置目的を理解し、意欲をもって職務に取り組むこと

5 雇用条件等

- (1) 勤務地 新潟大学社会連携推進機構（新潟市西区五十嵐2の町 8050 番地）

- (2) 給 与 国立大学法人新潟大学新年俸制教員給与規程による
- (3) 任 期 5年（再任可）
- (4) 勤務形態 ・基本的に専門業務型裁量労働制（みなし労働時間1日7時間45分）
専門業務型採用労働制を適用しない場合は、1週間の勤務時間38時間45分、1日の勤務時間8時30分～17時15分（休憩時間12時00分～13時00分）の固定労働時間制となります。
裁量労働制とするか固定労働時間制とするかは、採用時に希望を伺います。
・休日：土・日曜日、祝日、年末年始の休日等
- (5) 社会保険 文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険
- (6) 着任期日 令和7年4月1日以降のできるだけ早い時期

6 応募書類（各1部、A4判、書式任意）

- (1) 履歴書（大学入学以降の学歴、職歴、学位、資格、賞罰などを記入のうえ顔写真を貼付）
- (2) 職務経歴書（産学連携プロジェクトに従事した経験がある場合は経歴の中で記載すること）
- (3) 公募する職種に関連する業務において、特筆するものとする業務の概要を説明した文書（該当のある場合のみ提出）
- (4) 研究業績目録
- (5) 主な研究業績等を説明した文書
- (6) 学会等における活動状況を説明した文書
- (7) 産業安全文化協創センターの業務に関する抱負（2枚：全体で1,600～2,000字程度）
- (8) 照会先（応募者について問い合わせのできる方2名の氏名、所属、連絡先（電話番号、E-mailアドレス等））

応募書類は9に示す送付先に電子メールでお送りください。電子メールの件名は「【提出】産業安全文化協創センター教員応募書類（応募者氏名）」とし、ファイルは暗号化してください。

（注）応募に関する秘密は厳守します。また、本公募手続きにより本学が取得した応募者の個人情報、「個人情報の保護に関する法律」に基づき適正に管理し、選考以外に使用しません。

7 応募締切

令和7年2月10日（月）午後5時 必着

8 選考方法

書類選考の上、書類選考通過者に対して面接を行います。面接等の日時については対象者に連絡します。なお、面接等の際の旅費は、支給しません。

9 提出書類の送付及び問合せ先：問合せは原則として電子メールでお願いします。

〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学研究企画推進部社会連携課 大橋

TEL 025-262-6280 FAX 025-262-7513

E-mail kenkyo@adm.niigata-u.ac.jp

- ※ 産業安全文化協創センターは令和7年4月の設置に向けて準備を進めている段階です。
上記センターの設置目的、運営体制、業務内容等について情報提供を希望する場合は、上記9に示す問合せ先にご連絡ください。

- ※ 新潟大学では、ダイバーシティ推進センター (<https://diversity.nu.niigata-u.ac.jp/>) を設置して、男女共同参画を推進しており、業績等が同等であれば、女性を優先的に採用します。

- ※ 新潟大学では、キャンパス・グローバル化の実現に向けて、グローバル対応力の高い教員の採用を推進しており、多様な言語を母語とする学生、研究者との日本語、英語を使ったコミュニケーション能力のある方の応募を歓迎します。